

2023 年度（令和 5 年度）

後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会 議事録

日 時：2024 年 2 月 18 日（日）10：30～

会 場：宮城県医師会館（仙台市青葉区大手町1-5 TEL022-227-1591）

及び WEB(オンライン)配信

I. 東北連合産科婦人科学会役員会

1. 議長選出（渋谷先生）

本会の規約に則り本会常任委員の八重樫先生に議長を委任する。会場より拍手で承認。

2. 開会の挨拶（八重樫先生）

オンライン参加の先生方とハイブリッドで進行する。

3. 報告事項

(1)新名誉会員該当者、新功労会員推薦者（資料 1）

渋谷 祐介

新名誉会員は該当者なし。新功労会員として岩手県 福島明宗先生、秋田県 福田淳先生、山形県 手塚尚広先生を推薦する。

(2)日産婦学会専門医制度中央委員会報告（資料 2-1～2-6）

徳永 英樹

更新や認定審査後に専門医機構へ認定料を支払わないと証書は発行されない。

都市部に若干専攻医が集中している傾向がある。

2025 年度以降に筆記試験を CBT 試験とすることや、面接試験を筆記試験合格者に対して後日行うこと、面接再試験を同日または後日行うことが検討されている。

2026 年度までに専門医更新の際の診療実績免除の優遇措置は撤廃される（診療実績の提出または事情によって e-learning の受講が義務となる）。

一施設における研修期間は原則として 3 ヶ月以上であることが専門医機構から求められており、各施設でも対応をお願いしたい。

専門医資格取得後に 1 年間の地域医療の経験が課されている。この義務は講習を受講することと免除される。

専門医制度での e-learning による単位の取得上限は撤廃される。

症例レポートを作成する際の注意事項が公開されているのでレポート作成時に注意すること。

(3) 日産婦学会理事会報告（資料 3-1～3-3） 永瀬 智 横山良仁 八重樫伸生

（永瀬先生より）第 76～79 回の日本産科婦人科学会学術講演会の日程、開催場所の報告あり。

第三者からの精子提供患者の分娩や妊婦健診の受け入れ拒否の報告があり、厚生労働省から診療拒否をしないよう通達があった。

機関誌の電子化、和文誌の一斉郵送廃止が検討されている。

（横山先生より）HPV 検査単独法による子宮頸がん検診の管理に関する小委員会が新設される。

HPV 単独検診法のマニュアルが出され、各市町村によって HPV 単独検診や細胞診が行われる。

子宮体癌進行期分類 FIGO2023 について、内容が煩雑であり、世界の状況を確認しつつ日本でのように受け入れていくのか模索していくことを検討している。

(4) 第 155 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 4） 小山 理恵

日程、場所は記載の通りで変更なく、近々プログラムをホームページに掲載の予定。

(5) 第 71 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会

（第 156 回東北連合産科婦人科学会）の準備報告（資料 5） 渋谷 祐介

日程、場所は記載の通りで、それ以上の詳細は未定。

(6) 第 157 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 6） 樋口 毅

日程、場所は資料に記載の通り。

(7) 第 72 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会

（第 158 回東北連合産科婦人科学会）の準備報告（資料 7） 渡部 洋

（渡部先生にかわり齋藤昌利先生より）産婦人科内視鏡学会と日程がバッティングしたため、2025 年 9 月 12 日（金）、13 日（土）、ホテルメトロポリタン仙台へ変更となった。

(8) その他

（寺田先生より）2024 年 10 月 26 日、27 日、秋田市で第 29 回日本生殖内分泌学会学術集会を開催する。

（横山先生より）2025 年 6 月 6 日、7 日、日本婦人科がん会議を開催する。東北連合と 6 月 7 日午前の日程が重なる。

2024 年 10 月 19 日、20 日、アートホテル弘前シティで日本婦人科がん検診学会総会・学術講

演会を開催する。

4. 協議事項

(1) 東北ブロック総会運営委員会委員ならび決算委員会委員の推薦について（資料 8-1, 8-2）

総会運営委員に立花先生、決算委員に堤先生、田中先生が満場一致で承認された。

(2) 来年度の東北地区産科婦人科学会・医会連絡会について（資料なし）

2024 年度 前半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会：2024 年 5 月 19 日（日）（予定）

2024 年度 後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会：2025 年 2 月 23 日（日）（予定）

上記日程で承認された。

(3) 第 159 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会（山形）について（参考資料 1, 2, 3）

2026 年は山形県で承認された。

(4) その他

東北連合の常任委員について、1 年間の移行期間を経て、新年度（2024 年度）から八重樫先生が退任され、齋藤昌利先生が就任する。

（文責：高濱純史、渋谷祐介、齋藤昌利）

2023 年度（令和 5 年度）

後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会

資料目次

- 資料 1 新名誉会員該当者、新功労会員推薦者
- 資料 2-1 専門医制度中央委員会報告
- 資料 2-2 2024 年度専門研修プログラム専攻医登録(応募)状況一覧【都道府県別】
- 資料 2-3 2024 年度学会専門医制度申請・審査に関する日程表
- 資料 2-4 日本産科婦人科学会専門医研修出席証明(学会単位)の付与終了について
- 資料 2-5 専門医制度諸審査での e-learning による単位の取得上限撤廃について
- 資料 2-6 症例レポートを作成する際の注意事項(2023 年 12 月公開版)について
- 資料 3-1 日本産科婦人科学会理事会・常務理事会報告資料
- 資料 3-2 分娩や妊婦検診等の受け入れについて
- 資料 3-3 専門委員会小委員会設置申請書（新設）
- 資料 4 第 155 回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会
- 資料 5 第 71 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会 開催概要
- 資料 6 第 157 回東北連合産科婦人科学会総会・学術講演会 開催概要
- 資料 7 第 72 回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会 開催概要
- 資料 8-1 総会運営委員会委員ならび決算委員会委員の推薦について
- 資料 8-2 過去の総会運営委員および決算委員
- 参考資料 1 東北連合産科婦人科学会担当県・大学および会長名
- 参考資料 2 北日本産科婦人科学会担当校一覧
- 参考資料 3 東北連合産科婦人科学会担当県輪番表